学校だより　令和七年度第三号（通巻四九六号）

トンボロ

自主・気魄・根性

発　行
令和7年6月19日
薩摩川内市立里中学校
薩摩川内市里町里3377
TEL09969-3-2002
責　任　者
校長　加藤　晃一

頑張った地区総体

校長　加藤晃一

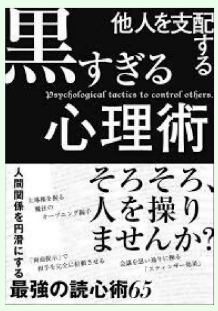
6月に入ると梅雨らしい天候が続いています。紫陽花をはじめ、学校の草花や里中農園のサツマイモにとっては、恵みの雨となっているようです。ところで、今年の鹿児島県の梅雨入りは、五月十六日でした。観測史上（昭和二十六年以降）5番目の早さです。近年では、令和三年の五月十一日の早い梅雨入りがありました。この年は、東海地方や九州北部で豪雨や土砂崩れによる大きな被害が出ました。今年、ニュースによっては、「今年の雨量は多くなる見込み」との情報があります。すでに鹿児島県内でも、浸水等の被害が出ているところもあるようです。災害に対する備えをしながらも、今後、大きな被害が出ないことを祈るばかりです。

先日は、川薩地区総体が開催されました。本校からも柔道、剣道、卓球、バレーボールの各競技に生徒が出場しました。初めて参加した一年生は、戸惑うことも多かったと思いますが、先輩方のサポートを受けながら一生懸命競技していました。二年生は、チームの中心となって活躍する姿があり、一年間の大きな成長を感じさせました。この大会に特別な思いで臨んだのは、三年生だったと思います。中学校生活最後の地区総体。目標は、県総体出場や九州、全国大会出場。しかし、勝ち上がれなければ、部活動の最後の大会となります。約2年半の練習と努力の成果を発揮しようと懸命に頑張りました。競技ですから、順位や勝敗として結果が出ます。入賞を逃したり、敗れたりしたら、悔しさや何かしらの後悔は残ることでしょう。私は、悔しさや後悔も貴重な「学び」だと思っています。地区総体での「学び」をこれからの生活に生かしてほしいと思います。今大会で、県総体への切符を手にした選手の皆さんはおめでとう。今大会で惜しくも敗れてしまった選手、支えていただいた指導者や保護者の思いを感じながら、県総体では、これまでの努力と自分の力を信じて、頑張ってほしいと思います。

里の信号機のある交差点や里中学校の正門横に、九州大会やインターハイ出場を果たした先輩方の横断幕が張り出されています。また、各高校からは先輩方からの中学生へのメッセージが届き、廊下に掲示しています。里中学校の先輩方が各高校で活躍している姿は、生徒、職員の大きな誇りであり、励みになります。今、里中学校で学んでいる三十九人の生徒たちが、将来、各進学先で活躍する日を楽しみにしたいと思います。

お薦めの一冊

番家隆幸先生



「他人を支配する　黒すぎる心理術」　verb

「人を操る」という行為は人とのコミュニケーションを円滑にして、良好な人間関係を築くためのとても有効な手段となる…。そのための心理学の知識や心理テクニックが紹介されています。様々な人間関係やコミュニケーションスキルに悩んでいる人にお薦めの一冊です。

上級学校について知る

6月10日、上級学校説明会が行われ、公立高校6校、私立高校6校に説明をしていただきました。

本校では、進路に関する意識を早期に高めさせる目的から1、2年生も参加しています。高校の先生方が話す整った施設や学校の様子を熱心に聞く生徒や保護者の姿が見られました。

感謝と気づき

5月28(水)、29(木)に集団宿泊学習が行われました。安心・安全メールやブログでもお伝えしましたが、さまざまな活動で講師をお招きして、普段できない貴重な体験を数多くすることができました。

非日常の経験でしか得られない気づきや感謝があります。楽しかった思い出だけで終わるのではなく、今回の体験で得られた学びをこれからの生活に生かすことで、自身の成長に繋げてほしいと思います。保護者の皆様、初日のお弁当準備ありがとうございました。

「勝利」も「敗北」も学びと成長へ～地区総体終わる～

6月3～4日に川薩地区中学校総合体育大会が開催されました。全国大会まで繋がる大きな大会。県大会出場か、3年生は引退か(一部の部活動を除く)という、重要な意味をもつ大会でもありました。各キャプテンの試合の様子と大会を終えた感想から、様々な気付きがあったことがわかります。残念ながらここで引退となった3年生、これまで本当にお疲れさまでした。県総体への出場を決めた皆さん、おめでとうございます。悔し涙を流した仲間たちの分までがんばってきてください。先日亡くなった「ミスタープロ野球」と言われた長嶋茂雄さんは「自分より練習した人はいない。そう考えると怖くなくなる。すると楽しくなる。」という言葉を残しています。この大会をひとつの区切りとして、また皆さんの何かがスタートしました。「練習」のところは「勉強」に換えても同じことが言えます。学びを生かして自分の成長に繋げましょう。

バレーボール同好会
梶原　詩音

☆　試合の様子
男女ともに　予選敗退

☆　大会を終えて
残念な結果でしたが、男女ともに後悔のないプレーをすることができ、いい経験になりました。最後まであきらめずにボールをつないでプレーすることができました。男子は1セット取ることができました。

柔道部
石原　航介

☆　試合の様子
男子団体3位（県大会出場）
石原航介　優勝
後藤伝真　準優勝
庵地琴晴　準優勝
全員県大会出場！

☆　大会を終えて
団体優勝して、県総体出場が目標でしたが、3位という結果で悔しいです。最後の県総体で、すべての力を出して、良い結果を出せるように、頑張ります！

卓球部
川道　礼夢

☆　試合の様子
団体戦では、みんなで協力して、1球1球集中してプレーすることができました。
男女ともに団体5位
南薗壱咲
個人県大会出場

☆　大会を終えて
成績は残せませんでしたが、卓球をすることで集中力や継続力が身に付き、いい経験をすることができました。

剣道部
小川　千咲

☆　試合の様子
男女とも1人でも多く県総体に行けるように、1戦1戦がんばりました。
個人　県大会出場
小川千咲　準優勝
西薗彩里　4位

☆　大会を終えて
1人1人、反省や次の課題が見つかった大会だったので、これからの稽古で反省を生かし、次に繋げたいです。

7月の行事

2日(水)　水泳練習～11日(金)まで
7日(月)　海岸清掃および海での水泳
11日(金)　芸術体験教室
12日(土)　水泳大会
15日(火)「気づいてあげよう　友達の困りごと」講話
18日(金)　終業式

←保護者、地域の方の参加もお待ちしています！

里中Tシャツ贈呈式

1年生に里中Tシャツが贈呈されました。コロナ禍に「お揃いのTシャツで心をひとつにしたい」という生徒会の発案で始まっています。1年生代表で受け取った山下敬斗さんは「これからこのTシャツを着て、先輩方とよい思い出をたくさん作っていきたいです」と、自分の思いを述べていました。